

学校法人高崎健康福祉大学 行動計画

本法人において、事務系職員が能力を發揮し、キャリア形成ができるよう、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間 : 令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日

2. 本法人の課題

事務系職員の管理職に占める女性割合が低い

本法人の労働者は教育系職員、医療系職員、事務系職員に分類でき、労働者数に占める女性割合は一定水準に達しており問題ないが、事務系職員の管理職における女性割合が低いのが課題である。

男性教職員の育児休業の取得率が低い

女性の育児休業の取得率は100%だが、男性教職員が育児休業の取得率が低いのが課題である。

3. 目標と取り組み内容

目標1 事務系職員の管理職に占める女性割合を30%以上にする

💡女性職員のキャリア形成支援のための研修会等へ積極的に参加

* 令和3年4月~ 研修会等の実施情報収集、研修会への参加

💡人事評価制度における制度の見直し及び上司への面談の実施

* 令和3年6月~ 人事評価制度における課題の洗い出し

* 令和3年11月~ 人事評価制度の見直し

* 平成4年6月~ 部下に女性職員を持つ上司への面談の実施

目標2 男性教職員の育児休業の取得率を7%以上にする

💡管理職を対象とした研修を実施し、対象教職員を把握した場合は制度の周知

* 令和3年4月~ 男性も育児休業を取得できることを周知する

* 令和3年4月~ 育児休業の取得希望者を対象とした講習会の実施

女性の活躍の現状に関する情報公表

令和3年4月1日現在

- | | | | |
|---|-------------------|------|-------|
| ① | 事務系職員の管理職に占める女性割合 | : | 20% |
| ② | 事務系職員の係長職に占める女性割合 | : | 37.5% |
| ③ | 事務系職員の平均勤続年数 | 男性 : | 12年 |
| | | 女性 : | 10年 |
| ④ | 女性の育児休業取得率 | : | 100% |